

1 研究主題

自立に向けて、共によりよく生きようとする児童の育成
～自己を見つめ、他者と関わり合いながら考えを深める道德科の授業の工夫～

2 研究主題について

本校は、令和２・３年度「やまぐちっ子の心を育む道德教育」プロジェクト推進校の指定を受け、昨年度から道德教育の研修に取り組んでいる。

２年次の研修を始めるに当たり、１年次の成果と課題を踏まえた上で、研究主題をより深く、明確にとらえ直すことにした。

【学校教育目標】

自立に向けて ともに磨き合う児童の育成

【道德教育の目標】

道德教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、自己の生き方を考え、主体的な判断のもとに行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道德性を養うことを目標とする。

「自立」は、本校の学校教育目標であり、校訓として長年大切に引き継がれてきた伝統である。これは、道德教育の目標と合致するものであり、道德性を養うことにつながるものであると考える。

そこで、本校の研究主題を次のように設定した。

自立に向けて、共によりよく生きようとする児童の育成

「自立」とは

【本校のめざす児童像】

- ① 意欲をもって学び 挑戦する子
- ② 自分と他の人を大切にする子
- ③ 自分で考え 最後までやり抜く子
- ④ 郷土を知り 地域に貢献する子

本校のめざす児童像を「自立」の視点と児童の実態からとらえ直し、重点目標を設定した。

【重点目標】＝ 自立の姿

- 自分の考えをもち、自ら行動する。
- 気持ちのよい挨拶や丁寧な言葉遣いをする。
- きまりを守り、自他の権利を大切にする。

「共によりよく生きようとする」とは

子ども達は、「賢くなりたい」「優しい人になりたい」「運動が上手になりたい」等、それぞれに、成長したいという願いを強くもっている。

従って、その成長意欲や願いを基盤にして、自分のよりよい生き方を考えることを大事にしたい。

次の点から、教師と子ども、また、子ども同士がいっしょに考え議論する道徳科の授業をめざす。

- A 生活の中で、自分自身が気を付けることは何だろう。
- B 人と接するとき、大切にしなければならないことは何だろう。
- C 集団や社会の一員として行動するとき、気を付けることは何だろう。
- D 自然や命、崇高なるものを大切にするには、どうしたらよいのだろう。

「自立」とは、単に自分のことだけ考えればよいということではない。「世の中や人のために尽くす」という志を抱くことが、大切である。つまり、「利己」ではなく「利他」の心を養うことである。

異なる他者と、多様な価値観を理解し合い、「共に」幸せな社会を築こうとする実践意欲・態度を育てていきたい。

本校のめざす児童像と重点目標【自立の姿】 内容項目との関連

めざす児童像	重点目標 【自立の姿】	内容項目
○意欲をもって学び 挑戦する子 ○自分で考え 最後までやり抜く子	○自分の考えをもち、自ら行動する。	○善悪の判断、自律 自由と責任 ○節度、節制 ○希望と勇気、 努力と強い意志
○自分と他の人を大切にする子	○きまりを守り、自他の権利を大切にする。 ○気持ちのよい挨拶や丁寧な言葉遣いをする。	○規則の尊重 ○親切、思いやり ○感謝 ○友情、信頼 ○相互理解、寛容 ○公正、公平、 社会正義 ○よりよい学校生活、 集団生活の充実 ○礼儀
○郷土を知り 地域に貢献する子	○気持ちのよい挨拶や丁寧な言葉遣いをする。	○感謝 ○礼儀

3 研究副主題について

自己を見つめ、他者と関わり合いながら 考えを深める道徳科の授業の工夫

「自立に向けて、共によりよく生きようとする児童の育成」をめざし、上記の副主題を設定した。

「自己を見つめ」とは

これまでの自分の経験やその時の感じ方・考え方と照らし合わせながら、自分との関わりで道徳的価値について考えることである。自らを振り返って、よかったことや問題点を内省したり、成長を実感したりする。そして、これからの課題や目標を見つけることができるようになってほしい。

これは、主体的な学びにつながるものであると考える。

「他者と関わり合いながら」とは

他者と対話をしながら、物事を多方面からとらえたり、様々な角度から考えたりすることである。それにより、多様な感じ方や考え方に触れることができ、道徳的価値の多面性に気付くことができる。

これは、対話的な学びにつながるものであると考える。

「考えを深める」とは

子どもは道徳的価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える。その中で、自己の生き方について考えを深めていくことができる。そして、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことができる。

これは、深い学びにつながるものである。

この3つに重点を置いて、児童が問題意識をもち、主体的に考え、話し合うことができるように、道徳科の授業を工夫していきたい。

4 研究の仮説について

**道徳教育を推進する体制を整備し、豊かな関わりにより自立を促す学級や学校の
雰囲気づくりを充実させ、道徳科の授業を工夫すれば、児童の道徳性や自立心が育
つであろう。**

研究主題に迫るために、研究に対する考え方や方法を、上記のような仮説にまとめ、研究の見通しをもつことにした。

5 研究の視点と実践項目について

- 1 道徳科の授業づくり
- 2 道徳教育を推進する体制の整備
- 3 豊かな関わりにより自立を促す学級や学校の雰囲気づくり

研究の仮説を検証する上で、内容をより具体化するために、研究の視点を3つ設定した。更に、具体的な実践項目を設定しておくことで、研究の方向性が明らかになり、教員同士の共通理解を深め、実践につながると考えた。

(1) 道徳科の授業づくり

- ① 多様な指導方法の工夫
 - ア 道徳的価値について深く考えさせる発問の工夫
 - 中心的な発問や補助的な発問・問い返し
 - イ 主体的な学習を促す指導方法の工夫
 - 導入・展開・終末過程における効果的な指導方法
- ② 評価の進め方
 - ア 児童についての評価
 - イ 授業についての評価

(2) 道徳教育を推進する体制の整備

- ① 児童アンケートによる実態把握
- ② 計画の作成（全体計画 指導計画 別葉）と見直し
- ③ 分掌主任との連携による校内体制の構築
- ④ 道徳教育に関する掲示の工夫
- ⑤ 指導記録の蓄積
- ⑥ 豊かな心を育てる活動
- ⑦ 家庭や地域社会との連携

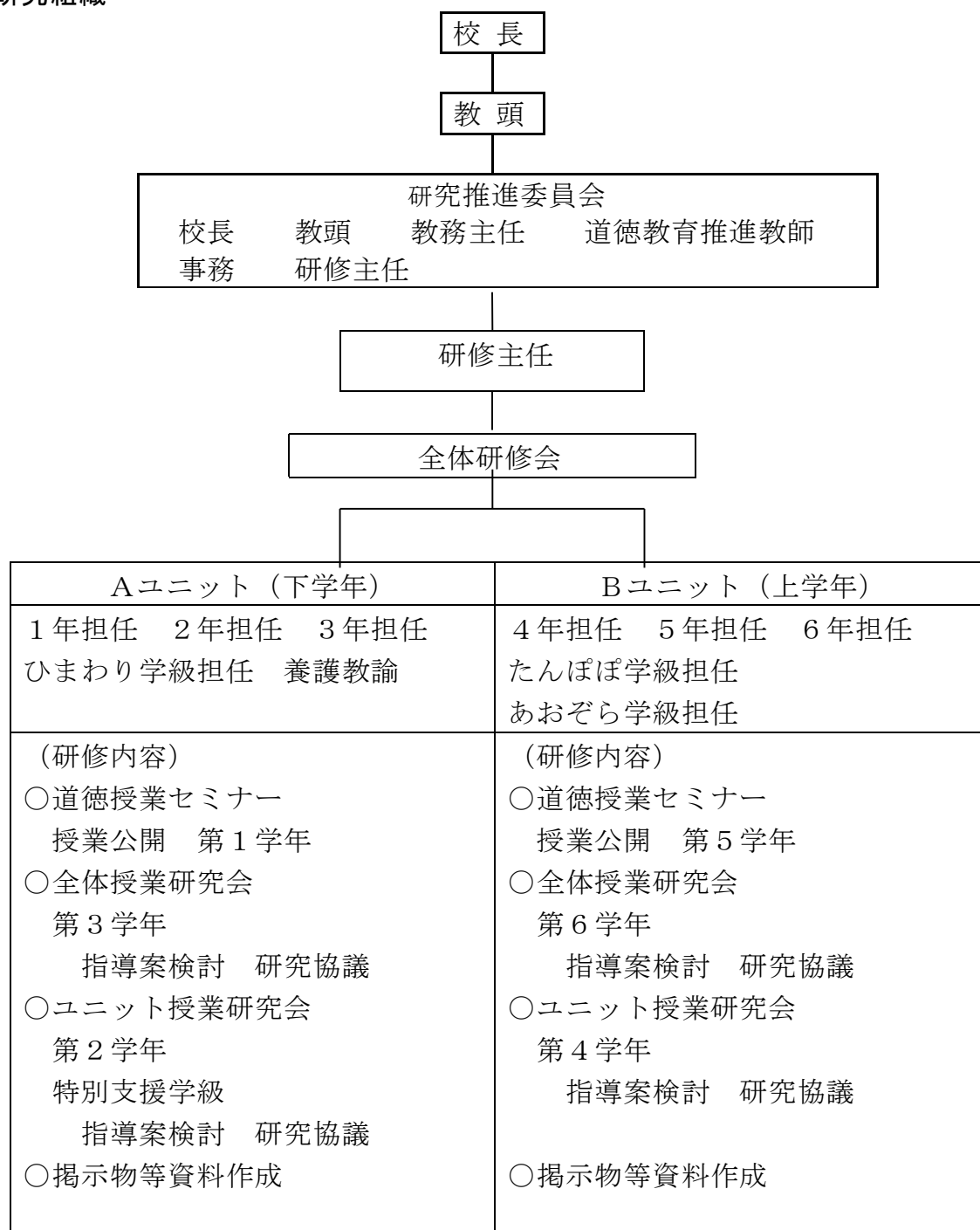
(3) 豊かな関わりにより自立を促す学級や学校の雰囲気づくり

- ① 児童の実態に沿った、温かみのある学級・学校経営
 - ア 自ら考え行動し、よりよい学級・学校づくりをめざす雰囲気づくり
 - イ 教師と児童の信頼関係、児童相互の人間関係づくり
 - ウ 支え合い、認め合う集団づくり
 - エ 互いに磨き合い、高め合う集団づくり
 - オ 学習規律を身に付け、落ち着いて主体的に学習できる雰囲気づくり
 - カ のびのびと自己の思いを表現できる雰囲気づくり
- ② 地域とのつながりを大切にし、地域を愛する心の醸成

6 研究の評価

- (1) 一人1授業の実施と授業評価
研究協議会での成果と課題の確認・共有
- (2) 講師の指導・助言
- (3) 児童アンケート（5月 1月）
- (4) 保護者や地域の意見 ユニット型研修

7 研究組織



*ユニット型研修の実施（保護者・地域との連携）

*田布施町教育研修会との連携（小中連携）

8 研修計画 * 令和3年5月10日時点

	月 日	研 修 内 容	備 考
一 学 期	4 月 6 日 (火)	研修計画立案①	
	4 月 1 4 日 (水)	研修計画立案②	
	4 月 2 1 日 (水)	研修計画立案③	
		(県提出書類作成) 実施計画書 所要経費の積算内訳 児童アンケート結果 道徳教育全体計画 別葉 年間指導計画	締切り 5 月 2 0 日
	6 月 2 日 (水)	指導案検討① (第 1 回全体授業研究会 第 6 学年)	全体研修
	6 月 1 6 日 (水)	第 1 回 全体授業研究会【第 6 学年】 授業者 田村 昌恵 教諭 指導者 光市立光井小学校 校長 温品 賢二 様	全体研修 公開
	6 月 2 3 日 (水)	指導案検討② (第 2 回全体授業研究会 第 3 学年)	全体研修
	7 月 7 日 (水)	第 2 回 全体授業研究会【第 3 学年】 授業者 齋藤 俊二 教諭 指導者 岩国市立そお小学校 校長 長岡 豊 様	全体研修 公開
	5 月 ~ 1 0 月	A B ユニット授業研究会 (一人 1 授業の実施) *各部会で都合のよいときに実施する。	ユニット研修
夏 季 休 業	7 月 2 6 日 (月)	1 学期の成果と課題 2 学期の計画	
	7 月 2 7 日 (火)	道徳教育パワーアップ研究協議会 実践事例発表	2 0 分間
	8 月	道徳授業セミナーの諸準備 プレゼン・掲示物・展示物等作成 会場設営計画 表示等準備 環境整備	
	8 月 中旬	道徳授業セミナー 2 次案内 進行次第 作成	県教委提出
	8 月 2 6 日 (木)	道徳授業セミナー指導案検討 【第 1 学年】 指導者 光市立光井小学校 校長 温品 賢二 様 【第 5 学年】 指導者 岩国市立そお小学校 校長 長岡 豊 様 田布施町教育委員会 津田豊 指導主事参加	
二 学 期	9 月 中旬	道徳授業セミナー 指導案完成・送付	県教委 指導者へ
	9 月 2 9 日 (水)	道徳授業セミナー準備 (会場設営・日程・運営・環境整備等 計画)	
	1 0 日 1 3 日 (水)	道徳授業セミナー準備 (公開授業準備)	
	1 0 月 2 7 日 (水)	道徳授業セミナー準備 (公開授業準備 確認事項)	
	1 1 月 5 日 (金)	道徳授業セミナー準備 (最終確認)	
	1 1 月 1 1 日 (木)	道徳授業セミナー 【第 1 学年】 授業者 中本 早苗 教諭 指導者 光市立光井小学校 校長 温品 賢二 様 【第 5 学年】 授業者 田邊 悠介 教諭 指導者 岩国市立そお小学校 校長 長岡 豊 様	
	1 1 月 2 4 日 (水)	道徳授業セミナー 反省 記録等整理	
	1 2 月 2 2 日 (水)	2 学期の反省 研究集録作成計画	

		(県提出書類作成) 評価の実践例 1 1 月 事例発表資料 1 2 月 実践事例リーフレット 1 2 月	締切り 1 1 月 2 6 日 1 月 7 日
三 学 期	1 月 1 2 日 (水)	3 学期の計画 研究集録原稿作成	
	2 月 9 日 (水)	研究集録製本 1 年間の反省 来年度の研修計画	
		(県提出書類作成) 実績報告書 所要経費の積算内訳 児童アンケート結果	締切り 2 月 1 8 日
	2 月 2 5 日 (金)	来年度の研修計画	

* 水曜日は全体研修、金曜日はユニット研修の時間を確保する。
ユニット研修は、各部会で都合のよいときに実施してよい。